

会 告

第78回(秋季)講演大会開催地のお知らせ

今秋の第78回講演大会の開催地が決定いたしましたのでお知らせいたします。詳細については追って会告いたします。

記

1. 期 日 昭和44年10月11日(土), 12日(日), 13日(月)
2. 場 所 広島大学 広島市東千田町1丁目1番89号

第4回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— 鉄鋼の凝固現象 ——

本会では、下記により第4回西山記念技術講座を開催いたします。おさそいあわせのうえ、多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 昭和44年6月3日(火), 4日(水)
2. 会 場 農協ホール(東京都千代田区大手町1-5)
(国電東京駅丸の内北口下車徒歩約10分 農協ビル9階)
(地下鉄丸の内線・東西線大手町下車)
3. プログラム

— 鉄鋼の凝固現象 —	
第1日(6月3日(火) 9:30~15:30)	
9:30 凝固に関する基礎的諸問題	北海道大学 高橋忠義君
13:00 リムド鋼・セミキルド鋼の凝固組織	富士製鉄 浅野鋼一君
第2日(5月4日(水) 9:30~15:30)	
9:30 連続铸造における凝固状の問題	住友金属工業 牛島清人君
13:00 特殊造塊法	日本製鋼所 中川義隆君
4. 聴講無料 事前の申し込みは不要です。
5. テキスト代 1000円
6. 別刷 1講師分 300円

日 本 鉄 鋼 協 会

東海支部学術講演会講演募集案内

本会東海支部では下記により学術講演会を開催いたしますので多数ご応募下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和44年5月20日(火) 9:00~17:00
2. 場 所 名古屋市中区白川町 名古屋市立科学館ホール
3. 見 学 昭和44年5月21日(水)
4. 申込締切 昭和44年4月15日(火)

用紙に講演題目、講演者名、勤務先を記入のうえ下記宛お申し込み下さい。申込者には原稿用紙を送りますので、規定様式によって講演概要原稿を作成し4月25日(土)までに必着するようご送付下さい。

5. 申 込 先 名古屋市中種区不老町 名古屋大学工学部金属鉄鋼工学教室内
日本鉄鋼協会東海支部 (Tel. 052-781-5111 内-3372)

— 特別報告書 —

『日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集(1967年度)』刊行のお知らせ

昭和 42 年 5 月本会が派遣した訪ソ学術使節団の報告書「日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集・1967年度」がこのたび刊行の運びとなりました。

この書は的場幸雄氏(富士鉄中研所長)を団長とする松下幸雄(東大教授), 盛利貞(京大教授), 不破祐(東北大学教授), 頼川清(八幡), 山崎恒友(富士), 中川義隆(日鋼)の各団員および A. M. SAMARIN 氏を中心としたソ連側からのシンポジウム提出論文(22件)を中心に, 研究所, 大学の見学記, ならびに各団員のソ連における感想をまとめたものであります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。

記

書 名 「日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集(1967年度)」 211 ページ B 5 判 上製本
 価 格 会員 1900 円, 非会員 2500 円(送料不要)
 申込方法 所要部数, 送り先, 氏名を記し, 代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。
 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会 編集課(〒番号 100)

論文題目

- | | |
|--|---------------------|
| (1) 鉄鉱石のガス還元における速度論と機構 | S. T. ROSTOVTSSEV |
| (2) 酸化鉄還元における酸素分圧の連続測定 | 松下幸雄, ほか |
| (3) 金属氧化物固溶体の還元に関する熱力学 | A. N. MEN, ほか |
| (4) ペレットの還元膨脹 (swelling) | 不破 祐 |
| (5) ロッキング炉による溶鉄の脱硫に関する研究 | 松下幸雄 |
| (6) 酸素および Fe_2O_3 による溶鋼の脱炭反応 | 不破 祐, ほか |
| (7) 溶融塩および金属融液の熱力学と構造 | I. T. SRYVALIN |
| (8) 溶融 CaO-SiO_2 , $\text{CaO-SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$, $\text{CaO-SiO}_2\text{-TiO}_2$,
$\text{CaO-SiO}_2\text{-FeO}$ 系の 1550°C における水蒸気溶解度 | 不破 祐, ほか |
| (9) 溶融酸化物の半導体について | E. A. PASTUKHOV, ほか |
| (10) 浮揚溶解による脱酸剤の酸化に関する研究 | 盛 利貞 |
| (11) アーク溶接時の脱酸反応 | 頼川 清 |
| (12) 溶融鉄および溶融 18Cr-8Ni-Fe 合金の Ti 脱酸 | 〃 |
| (13) ニッケルおよびニッケル・クロム融体の脱酸 | V. V. AVERIN |
| (14) 溶融金属の諸性質と構造 | A. SAMARIN |
| (15) 溶鉄の粘性について | 中川義隆 |
| (16) 金属融体の電子構造 | V. V. GRIGOROVICH |
| (17) 溶鉄の短範囲規則性構造と溶鉄への窒素の溶解度 | A. SAMARIN |
| (18) 溶融合金の微視的不均一性と鋼脱酸の問題 | A. A. VERTMAN |
| (19) 鉄炭化物溶融合金の熱力学に関する 2, 3 の問題 | L. A. SHVARTSMAN |
| (20) 希薄溶体の成分の活量を計算する方法 | I. S. KULIKOW |
| (21) 溶液の微視的不均一性 | N. N. SIROTA |
| (22) 珪素鋼板の脱炭について | 山崎恒友 |

— 特別報告書 —

「わが国における最近の分塊技術の進歩」刊行のお知らせ

日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告

弊会では日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告書「わが国における最近の分塊技術の進歩」を 8 月発行いたしました。

ご承知のとおり, 分塊工場の機能は, 一貫鉄鋼製造工程において, 製鋼工場と成品圧延工場の間に位し, 工程管理的には, 両者間の緩衝作用をなし, また品質的には成品圧延で要求される諸条件を備えた材料を供給するという, きわめて重要, かつ不可欠のものであります。

本書は, 分塊における最近の技術, 進歩を主体に編集したもので, わが国分塊技術の現状を総合的に把握し, 将来の技術向上, 専門知識の修得, また社内教育のためにも貴重な資料であります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。なお, 本書は限定版でございますので早日にお申し込み下さいますようお願いいたします。

記

書 名 「わが国における最近の分塊技術の進歩」(B 5 版 272 ページ 上製本)
 価 格 会 員 1900 円 非会員 2400 円(送料不要)
 申込方法 所要部数, 送り先, 氏名を記し, 代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。
 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
 日本鉄鋼協会 編集課(〒番号 100)